

横浜女学院 2019年度「学校目標」

2019.4

《建学の精神》

プロテスタントのキリスト教精神による女子の人間教育を行う。聖書こそ人間を創る真実の教えであると信じ、十字架に連なる「愛と誠」の教育に全力を尽くす。この目的のために、教える者も教えられる者も、主による「感謝・信頼・希望」を重んじる。

《校訓「愛と誠」》

「愛と誠」は生きる力の基であるイエス・キリストの教えである。いつも感謝をささげ、神様に信頼をおき、絶えず希望を持つことにより、生きる喜びが与えられる。

《育成したい生徒像》

神様と人に愛されている存在としての肯定的なアイデンティティを確立し、多角的かつグローバルな視野をもち、社会貢献を果たすことのできる生徒

| 学校教育目標 | 具体的な目標 | 具体的な取り組み |
|--|--|--|
| 1 聖書の教えを通して、確かな人間形成を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ○聖書に親しみ、教えを通じて生きる喜びを実感できる者とする。 ○ディボーション・クラス礼拝の内容の深化を図る。 ○奉仕する心を育み、実践へと生かす。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆教職員のキリスト教理解のための研修を年間3回実施する。また教職員による賛美礼拝を引き続き行う。 ◆ディボーションとして聖書の指定された章を通読する。 ◆諸行事への招待、清掃活動など近隣への奉仕活動を積極的に行う。 |
| 2 ESD (Education for Sustainable Development、持続可能な発展のための教育)を推進し、主体的かつ協同的に深く学ぶ姿勢を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ESDにより、6つの力を育てる。 ○自己実現に向けた学習・進路指導計画を学年ごとに綿密に立てる。 ○興味・関心事の幅を広げ、主体的な学習姿勢を育てる。 ○個人の成績に応じた効果的な学習の実践を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ESDのカリキュラムを発展的に見直す。全教科で問題解決型の授業を工夫する。 ◆6ヵ年を見据えたカリキュラム・シラバスをより良くし、さらに新学習指導要領に対応するカリキュラム、新しい大学入試共通テストを見据えたシラバスを作成する。 ◆学習センターや進路指導室での学習活動を推奨する。 ◆PCを有効利用した授業展開を充実させる。 ◆図書室を充実し、利用者の拡大を図り、読書習慣を身に付ける。 ◆夏休みの学習セミナーで自学自習体制を確立する。 ◆eポートフォリオ活動への対応に努める。 |
| 3 互いに敬愛し、思いやる心を養い、知性と品位を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○マナー教育を強化し、公共道徳を理解する。 ○生徒一人ひとりの心身への健康支援を行う。 ○学校生活の安全を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆いじめ予防教育、マナー・モラルに関わる講話を複数回実施する。 ◆カウンセリング室の開室日を拡大する。 ◆防災対策・通学路指導等の徹底を図る。 |

| 学校教育環境目標 | 具体的な目標 | 具体的な取り組み |
|--|---|--|
| 1 施設や設備の点検・改修を進め、さらなる生活・学習環境の充実を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒に、より安全な生活環境を提供する。 ○活用しやすい教育環境整備に努める。 ○避難経路の安全性を確保する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆地震等に備えた防災体制の整備・点検を恒常的に行う。 ◆体育館空調設備を更新する。 ◆ICT環境をさらに整備する。 ◆職員室・教室・その他校内を清潔に整備し、落ち着いた教育環境をつくる。 ◆テニスコート擁壁の改修を行う。 |
| 2 教職員の能力の伸長を支援するための環境作りを推進する。潤いのある職場環境づくりを目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ○全教員の授業公開を必須とし、授業の充実を図る。 ○初任者研修及び校内研修を充実させる。 ○教職員の健康維持・促進に努め、余裕ある教育活動の実践を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆問題解決型の授業を構築し公開する。 ◆広い分野にわたる書籍・雑誌等の充実を努める。 ◆休憩室の設置と年間休日の確保に努める。 |
| 3 PTAや後援会・同窓会、地域等への情報発信に努め、連携を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ○保護者・卒業生・地域とともにある学校として、多様な連携の強化を図る。 ○講演会・公開講座等を充実する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆HPやメール配信で、迅速な情報発信に務める。 ◆保護者向けの教育講演会を開催する。 ◆土曜教養講座の充実を図り、受講を推奨する。 |

